

各単組の評議員会・分会長会 開催



11月22日(水)小豆郡伊馬町センターにて小豆郡教職員会の分会長会が行われた。香教連からは高木委員長が参加し、「現在、県や市町単位で来年度の教育に関する予算の折衝がなされています。市町では、小豆郡教職員会が中心となって、会員の声を是非届けていって下さい。」と挨拶された。

引き続き議事に入り、人事異動希望調査(会員票)について、各町教委・東部教育事務所への要望結果について、今後の小豆郡教職員会の行事について話し合いが行われた。

令和5年度 第2回香教連専門部会



11月11日(日)から、4日(火)までの期間に、女性教諭部・人事対策部・採用試験対策部・養護教諭部・青年部の香教連専門部会を開催した。

ZOOMを利用して、来年度の活動方針・要望内容を主に話し合った。また各都市の情報交換も行った。話し合った内容は、来年度の要望内容に取り込んでいく予定。

香教連結成50周年記念式典

香川県教職員連盟は令和6年度に結成50周年を迎えます。つきましては、以下の日程にて、記念式典を開催し、さらなる発展を祈念したいと存じます。会員の皆様には、ご多忙とは存じますが、是非ご参加くださいますよう御案内申し上げます。

記念式典
日時 令和6年2月10日(土)
13時30分 受付開始
14時~16時30分 式典

演題 香川の教育改革と香教連の歩み(仮)

講師 阪根 健二(鳴門教育大学 特命教授)
他 香教連元委員長
田中 壮一郎(元文部科学省 審議官 元香川県教委教育長)

11月28日(火)教育会館2階にて高松市学校職員協議会の評議員会が行われた。会長からは、人事異動希望調査(会員票)の記入の仕方や市教委要望の結果について説明があった。その後、引き続き大西秀人高松市長との「市長まちなかトーク」が行われ、市長からは、「現場の先生方と直接意見交換をすることができてよかった。限られた予算ではあるが、学校現場が必要としているものについては精査して対応していきたい。」と感想を



今回の書籍は、『教室「安全基地」化計画』。副題は「不適切な関わりを予防する」です。「今回も教室マルトリートメント関連だな」と思われた方は流石です。著者の川上康則先生を中心に行われたオンラインセミナーを書籍化したものです。

教室マルトリートメントが及ぼす、子ども達への影響を改めてとらえてみましょう。

一つ目は、子どもにネガティブな記憶を残しやすいため、子どもには「生忘れられない傷」として心の中に残る可能性があります。

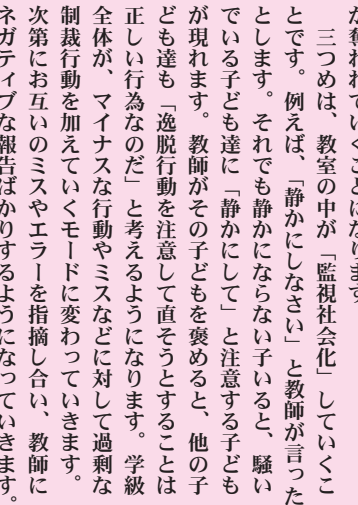
二つ目は、「見捨てられないように」「叱られないように」という気持ちが芽生え、教師の顔色をうかがうことが子どもの行動の判断基準になることです。これは「悪いことはやらないようにする」というモードとして働きますが、その一方で、良いことも自分で考えてやろうとはしなくなる。「くしてもいいですか」といいたい許可を得なければ行動できなくなるというつながりがあります。その結果、主体性が奪われていくこととなります。

三つ目は、教室の中が「監視社会化」していくことです。例えば、「静かにしなさい」と教師が言ったとします。それでも静かにならない子いると、騒いでいる子ども達に「静かにして」と注意する子どもが現れます。教師がその子どもを褒めると、他の子ども達も「逸脱行動を注意して直そうとする」という正しい行為なのだ」と考えるようになります。学級全体が、マイナスマインドやミスなどに対して過剰な制裁行動を加えていくモードに変わっていきます。

次第にお互いのミスやエラーを指摘し合い、教師にネガティブな報告ばかりするようになっていきます。

四つ目は、不登校や登校しづらくなることにつながります。今までは、不登校の主な原因は学力不振や親子関係、友達との関係などとされてきましたが、教師の不適切な指導も原因の一つである可能性があります。着目していく必要があります。

(続きは来月号にて)



11月18日(土)日本教育文化研究所主催による令和5年度教育シンポジウムがZOOMを利用して開催された。「崇高な使命を有する教職の魅力」を再発見する」と題して、コーディネーターに明石要一先生、パネリストに戸ヶ崎勤氏(埼玉県市教育委員会教育長)、丸山祥司氏(公立学校共済組合理事長、元文科省文部科学審議官)の3名が登壇し、それぞれの立場で教職の魅力再発見の実現のためにできることは何かを提言していただいた。

毎日、「学校はブラックだ」「給料が安い」「働かせ放題」などといった暗い記事がネットを賑わしている。これからは、もつと教師の本来的な魅力や素直な魅力を発信していくべきではないだろうか。自虐的な体言をいっただけでいい傾向があるが、それでは子どもも身体も落ち込んでいくばかりではないか。

「教師冥利に尽きる」という言葉がある。教員はそういった実体験もどんどん発信していくべきではないか。誰しも一つや二つは教師冥利に尽きる経験してはいるはずである。これからの時代に是非取り組んでほしいことである。(戸ヶ崎市教育長の談話より)

11月 業務抄

- 4-5日 全日教連執行委員会 (東京)
- 6-7日 第9次中央要請行動 (東京) (国会議員への要望活動)
- 8日 香川県教育委員会予算要望
- 9日 高学協役員会
- 11日 香教連専門部会 (女性教諭部) 中堅教員研修会 (教育会館)
- 13日 香教連専門部会 (人対部)
- 14日 高松市教委要望 (高学協) 香教連専門部会 (養護教諭部) (青年部)
- 18日 教育シンポジウム (ZOOM開催)
- 21日 教育県香川の教育を語る会
- 22日 小豆郡教職員会 評議員会
- 24日 丸教協評議員会 評議員会
- 27日 教育セミナー マネー講座 (ZOOM開催)
- 28日 高学協 評議員会

会員の声

会員の皆様の声を大募集中です。(右のQRコードを読み込んで送信すれば簡単です。) 声を届けてくださった方の中から1名の方に、図書券をプレゼントいたします。メールアドレス:kakyoren2021@gmail.comに、「会員の声」を書いて、所属校・名前・御意見を記入してもOKです。



香教連会員票の配布

11月中旬より、会員の皆様には、香教連会員票が配布されていると思います。大事な人事に関する資料となります。学校長に提出する調査票の内容と齟齬(そご)がないようにお願いします。令和5年度の公立学校職員人事異動基本方針をよくお読みになって、記入して下さい。人事に関する事で、不安に思うことや悩んでいることがありましたら、一度香教連までご連絡下さい。プライバシーをしっかりと守って、お話を伺います。電話087-835-2721

教育シンポジウム ZOOM開催

11月18日(土)日本教育文化研究所主催による令和5年度教育シンポジウムがZOOMを利用して開催された。「崇高な使命を有する教職の魅力」を再発見する」と題して、コーディネーターに明石要一先生、パネリストに戸ヶ崎勤氏(埼玉県市教育委員会教育長)、丸山祥司氏(公立学校共済組合理事長、元文科省文部科学審議官)の3名が登壇し、それぞれの立場で教職の魅力再発見の実現のためにできることは何かを提言していただいた。

毎日、「学校はブラックだ」「給料が安い」「働かせ放題」などといった暗い記事がネットを賑わしている。これからは、もつと教師の本来的な魅力や素直な魅力を発信していくべきではないだろうか。自虐的な体言をいっただけでいい傾向があるが、それでは子どもも身体も落ち込んでいくばかりではないか。

「教師冥利に尽きる」という言葉がある。教員はそういった実体験もどんどん発信していくべきではないか。誰しも一つや二つは教師冥利に尽きる経験してはいるはずである。これからの時代に是非取り組んでほしいことである。(戸ヶ崎市教育長の談話より)

「教文研教育シンポジウム」 全日本教職員連盟 事務局次長 弘瀬 雅一 師走を迎え、一年の締めくくりの時期となり、イベントが開始され、幻想的な雰囲気を出しています。

十一月十八日(土)に教文研教育シンポジウムが開催されました。「崇高な使命を有する教職の魅力」を再発見する」と題して、コーディネーターに明石要一先生、パネリストに戸ヶ崎勤氏(埼玉県市教育委員会教育長)、丸山祥司氏(公立学校共済組合理事長、元文科省文部科学審議官)の3名が登壇し、それぞれの立場で教職の魅力再発見の実現のためにできることは何かを提言していただいた。

毎日、「学校はブラックだ」「給料が安い」「働かせ放題」などといった暗い記事がネットを賑わしている。これからは、もつと教師の本来的な魅力や素直な魅力を発信していくべきではないだろうか。自虐的な体言をいっただけでいい傾向があるが、それでは子どもも身体も落ち込んでいくばかりではないか。

「教師冥利に尽きる」という言葉がある。教員はそういった実体験もどんどん発信していくべきではないか。誰しも一つや二つは教師冥利に尽きる経験してはいるはずである。これからの時代に是非取り組んでほしいことである。(戸ヶ崎市教育長の談話より)